

平成 22 年度日本水産学会東北支部第 1 回評議員会議事録

期日：平成 22 年度 7 月 28 日～8 月 10 日

会議の方法：電子メールを用いたメール会議方式による。

参加者：佐藤実（支部長・東北大院農）、有元 操（東北水研）、石田行正（東北水研）、井ノ口伸幸（岩手県水技セ）、遠藤宜成（東北大院農）、緒方武比古（北里大海洋生命）、尾定 誠（東北大院農）、加戸隆介（北里大海洋生命）、菅野信弘（北里大海洋生命）、木島明博（東北大院農）、小坂善信（青森県むつ水産事務所）、高橋清孝（宮城内水試）、南 卓志、村本光二（東北大院生命）

事務局：吾妻行雄、高橋計介、菅野愛美、佐々木浩一、山口敏康、大越和加、横井勇人、伊藤直樹（東北大院農）

議事次第

1. 平成 22～23 年度東北支部事務局（東北大農）の紹介

2. 報告事項

- (1) 3 月 28 日、及び 6 月 12 日に開催された平成 22 年度理事会の内容において、東北支部および広く会員に関わる主な内容が報告された。
- (2) 平成 22 年度事業計画が報告された。
- (3) 平成 22 年度編集計画が報告された。
- (4) 平成 22 年度予算が報告された。

3. 協議事項

- (1) 平成 22 年度日本水産学会東北支部大会について、平成 22 年 11 月 5 日（金）～6 日（土）に宮城県を幹事として、東北大学農学部 10 番教室にて開催すること、開催されるミニシンポジウム「外来生物による水産業と生態系への影響」は、酒井敬一氏（宮城水技セ）・大越和加氏（東北大院農）、有元操氏（東北水研）の 3 名をコンビナーとして実施することが提案、承認された。
- (2) 支部監事について
須藤篤史氏（宮城県農林水産部）を支部監事とすることを提案され、承認された。
- (3) 日本水産学会東北支部細則の改定が提案され、承認された。
- (4) 「日本水産学会東北支部長賞」細則の改定が提案され、承認された。

4. その他

- (1) 日本水産学会東北支部長賞について、選考に関する申し合わせを作成し、11 月の幹事・評議員合同会議にて諮ることが提案された。
- (2) より公益性の高い支部とするため、高校生の支部大会参加について、事務局で検討、見解をまとめることとなった。

以上